

# 平成 30 年度全日本大学対抗テニス王座決定試合

## 注 意 事 項

### ◎ ルール・コードオブコンタクト

ルールは、「JTA テニスルールブック 2018」のテニス規約に基づき、コードは JTA ルールに基づく。

### ◎ 大会出場にあたって

#### ※ドロー抽選前の出場辞退

エントリー大学がドロー抽選 1 週間前以前に出場を辞退した場合、その大学の地域から、地域学生テニス連盟推薦をもって出場を決める。

#### ※ 大会前の大会出場大学の不祥事について

地区大会で勝ち上がり、本大会の出場が決定している大学が本大会までに不祥事を起こした場合は各地区の学生連盟と全日本学生テニス連盟との話し合いで、大会出場資格を剥脱する可能性がある。

#### ※ 大会期間中に出場大学の不祥事について

本大会期間中に出場大学が不祥事を起こした場合、当該大学を失格とし敗退になる場合がある。

### ◎試合形式

男子の試合は 1 対抗のポイント数は複 3、単 6 の合計 9 ポイントとする。

女子の試合は 1 対抗のポイント数は複 2、単 3 の合計 5 ポイントとする。

男女共に、単複同日に行う。

試合は全て The Best of 3 Tie Break Set Match (ファイナルセット延長セット方式ではない)

使用ボールは公認ダンロップ FORT、ボールチェンジは 9-11-11 とする。

1R～SF・3 位決定試合：2 球使用 決勝戦：4 球使用

審判 1R、2R、3 位決定戦：ソロチェアアンパイア

**SF、F：主審＋3クルー（準決勝についてはサイドライン審は各自校で出すものとする）**

**※両校の同意があれば、各自校で最大 8 審までつけることを認める。**

### ◎ コートサーフェス及び面数

ハードコート

注：天候等の理由により、大会を予定通り終了出来ない場合は違うサーフェスのコートを使用する場合がある。

男子は原則 3 面、女子は 2 面進行とする。また試合進行上、面数を増やすことがある。

### ◎ シード順位／ドロー抽選

第 1 シード～第 4 シードまでの順位は、昨年度の王座の大会結果に基づき決定をする。

ドロー抽選は、9 月 29 日（土）に行います。

### ◎ 試合開始時刻（オーダー交換）

ダブルスのオーダー交換を 9：50 に行い 10：00 には試合を開始することとする。また、ダブルスの全試合が終了後、すぐにシングルのオーダー交換を行う。また、シングルのオーダー交換の際に、オーダーの書き直しを行

う場合はコートレフェリーに伝え、理にかなった時間でシングルスのおオーダー交換の時間を遅らせることが可能である。また、シングルスのおオーダー交換終了後、ダブルスと同様 10 分後には試合を開始することとする。また、出場する選手は必ずおオーダー交換時にサービスライン上に整列することを義務とする。また、サブメンバーに関しては後列に整列するかは各大学に任せるものとする。

注 1：おオーダー交換時に T シャツでの整列は認めない。

注 2：おオーダー交換後の各大学のミーティングで試合開始時刻が遅れることは認めない。

注 3：おオーダー交換時に整列することができるのは部長・監督・部員・マネージャーとする。

注 4：自校の部旗が張ってあるサイドに整列すること。

## ◎ 試合の順序

男子：ダブルス第 3 位から順次第 1 位、その後シングルス第 6 位から順次第 1 位。\* 1

女子：ダブルス第 2 位から順次第 1 位、その後シングルス第 3 位から順次第 1 位。

ダブルスに出場していない選手同士の対戦はダブルスのおオーダー交換の 10 分後に試合に入るものとする。この場合シングルス 2 まで適用される。シングルス 1 は一番最後に入る。

\* 1 ダブルスのレスト考慮で早い順に入れるためこの限りではない。

## ◎ 服装

### (1) 選手の服装

選手の服装はテニスウェアであれば色は問わない。

しかし、試合中のウォームアップ、トレーナーの着用は認めない。(試合中のベスト、セーター、カーディガンの着用は認める)

### (2) ロゴ

ロゴは「JTA テニスルールブック 2018」に基づき、違反ロゴに対するテープの使用は認めない。

### (3) 大学のロゴ

大学のロゴについて、大きさの規定はない。

### (4) インナーの着用

「JTA テニスルールブック 2018」に基づき、診断書を事前に提出し、許可をもらった場合を除き、膝丈以上の長さのインナーの着用は認めない。

## ◎ オーダーについて

今年度、全日本大学対抗テニス王座決定試合のオーダー規約に基づく。

重要：大会の結果は全て大会終了時の対戦結果に基づくものとする。そのため、ラッキールーザー等で本戦大会に出場した選手は本戦選手扱いとなる。また、大会前等のドロー表には名前が載っていたが、怪我等で辞退することになりドロー表から名前が消去された場合はその大会に出場していないものとする。

## ◎ オーダー用紙の交換方法

必ず式次第時に相手校提出用と学連提出用の 2 枚を用意する。両校主将挨拶時に、相手校用を相手校主将に、学連

提出用をその場で式次第を行っている学連に提出する。(学連提出用を大会本部に提出することがないように)

**重要**：今大会では、オーダー交換が上記の方法で行われず、オーダー交換に不備があった場合はペナルティが課せられる

(以下参照)

各地域でのリーグが以上の方法で行われていない場合は、王座出場校に以上の方法を教えるのは各地域学連の義務とする。

#### ◎ オーダー用紙について

1. オーダー用紙はコピー可能。(同じサイズのみ)
2. オーダー用紙の様式は、当連盟指定の用紙に毛筆またはペン書き(黒または青)とする。
3. 名前はフルネームで記入すること。また、必ず横に振り仮名も記入すること。
4. 日時など数字を記入する箇所は漢数字でも算用数字でも可能。
5. 式次第のときにオーダー用紙がない場合、その当該校にペナルティを科す(以下参照)。
6. 大学名は正式大学名称で記入すること。分からない場合は相手校に確認する。
7. オーダー用紙を封筒に入れる必要はないが入れても構わない。
8. 訂正箇所(修正液不可)には2重線を引き、部印がそれにかかるように押すことによって訂正を認める。

#### ◎ オーダー順位について

オーダー規約に基づいてダブルス・シングルスそれぞれのオーダー用紙に記入すること。順位の書き間違いによるペナルティは「◎オーダー・オーダー用紙のミスのペナルティについて」を参照すること。

#### ◎ オーダー・オーダー用紙のミスのペナルティについて

オーダー順位は、オーダー規約に基づくものとする。

1. オーダー規約にもとづかない順位で発表されたオーダーに関しては
  - ・その誤りのあった対戦を没収(ダブルスとシングルスどちらのオーダー交換時も共通)例) 本来、A・B・Cの順で固定であったオーダーを誤ってA・C・Bの順で提出し、相手校に提訴された。  
→BとCの試合を没収、提出した大学側の2敗となる。  
これらの処置は、相手校の主将・主務・質疑権所有者の提訴があった場合にコートレフェリーがとる。  
注1：オーダー規約の違反に対しての提訴は、複・単共に、その試合終了までとする。  
注2：主将・主務・質疑権所有者以外からの提訴は、受け付けない。  
注3：オーダー規約を確認するための過去の地方大会の資料の貸出は学連から行わない。
2. 記入ミスについて  
例) 部印がない、氏名・大学名の漢字が間違っている場合など(違う大学名が書いている場合などは除く)
  - ・特に罰則はない
3. 試合開始のダブルスオーダー交換時に、学連提出用と相手校提出用のどちらかが無い、またはどちらのオーダー用紙も無いという場合。
  - ・ダブルス全試合を没収
4. ダブルス終了後のシングルスオーダー交換時に、学連提出用と相手校提出用のどちらかが無い、またはどちら

のオーダー用紙も無いという場合。

- ・ シングルス全試合を没収

### ◎ 試合前のアップについて

当日試合がある大学には朝のプラクティスコートが振り分けられる。コート時間の詳細はオーダー・オブ・プレーを参照すること。また、各試合前に5分間のウォーミングアップが与えられる。

### ◎ 練習ボール・練習コート

練習ボールは、大会2日目以降は、練習コート受付で用意する。

練習コートは、当日試合のない大学は朝のプラクティスを貸し出さない。朝のプラクティスコートはOOPに記載されているコートと時間で行うこと。また、試合終了後のプラクティスコートもサインアップ方式で開放する。

**重要：**試合終了後のプラクティスコートはその日の対戦が全て終了した大学に解放するものとする。使用したい大学は必ずサインアップする前に陣地の撤収作業を可能な限り行い、また各大学のゴミの分別も行うこと。これを守らず練習を行った大学は練習を中断させ、今後練習のコートの解放を制限する場合がある

### ◎ トイレットブレイク

(男子)

1試合にシングルス1回、ダブルス1組2回、トイレを理由に原則としてセットブレイク時に理にかなった時間でとることが出来る。ただし、状態が深刻であるとアンパイアが判断したときは例外とする。

(女子)

1試合にシングルス・ダブルス(ペアで)共に2回、トイレットブレイク又は着替えのいずれかの理由で、原則として理にかなった時間のトイレットブレイクをとることが出来る。(セットブレイク時が望ましい。着替えはセットブレイク時のみとする。)

(ベンチコーチ)

選手と同じ時にトイレットブレイクをとることができる。この場合は選手と共にトイレットブレイクに行くことができる。しかし、トイレットブレイク中に観客等の第三者と話した場合はベンチコーチに戻ることはできない。また、その後のベンチコーチの補充もできない。

注1：ウォームアップ中も試合中と同様、回数に数える。

注2：トイレットブレイクは、コートレフェリーがついていく。

注3：トイレットブレイク終了後は余りのレストの時間は使用できない。(90秒以上トイレットブレイクにかかった場合)

### ◎ レストの時間について

レストの時間は本大会でダブルスからシングルスを行うため、以下のように定める。

試合時間	60分未満	: 30分
	60分以上 90分未満	: 40分
	90分以上	: 60分

注1：レストの時間はシングルの試合の有無に関わらず、ダブルスの試合を行った選手全員に確認する。

### ◎ ボールパーソン

ボールパーソンは原則1試合につき1名、各大学から出すものとする。ボールパーソンは必ずテニスウェアを着用すること。また、色に関しての指定はしないが選手の目につく色はなるべく避けるようにしたい。部員不足等の

理由によりボールパーソンが出せない大学は開会式前までに大会ディレクターに申し出ること。

注1：ボールパーソンは選手やベンチコーチ等と会話してはならない。(場合によっては選手のコーチングペナルティ対象になる場合がある。)

注2：ボールパーソンの交代は認めるが、原則としてセットブレイク時のみとする。

注3：ボールの渡し方などは原則として自由である。

注4：選手にタオルを渡すことは可能だが、会話をしてはならない。

## ◎ ベンチコーチ

エンドチェンジの90秒間、セットブレイク時の120秒間にベンチコーチから選手はコーチングを受けることができる。(各セット1ゲーム終了後、またタイブレイク時のコートチェンジ間ではコーチングをしてはならない)ベンチコーチは部員・監督の他ベンチコーチ登録名簿に記載されている者が行うことができる。ベンチコーチの交代は自由。交代の際は主審に伝えて後、入ることができる。

※ベンチコーチのペナルティは1回目注意、2回目が警告、3回目は退場とする。また、退場した場合その試合中の代理は認められない。

注1：ベンチコーチは必ずテニスウェア・テニスシューズを着用すること。

## ◎ 質疑権所有者

質疑権は、各大学主将・主務の一方にある。だが、主将主務両名が試合やベンチコーチ等でコート内に入り不在の場合は、他の部員が代理として質疑権所有者となることを認める。

各主将・主務は試合前、および試合進行中に質疑権の所在をコートレフェリーに明らかにしなければならない。

質疑権所有者：試合進行上でコートレフェリー(レフェリー)に質疑する権利がある。しかし、ジャッジ等でもめたときにコート内に入ることが出来ない。

選手：主審にそのプレーに対する判定に質疑することが出来るが、レフェリー(コートレフェリー)に対して抗議することは出来ない。ジャッジの最終判断は主審にあり、それに対して質疑をすることは出来るが抗議する権利はない。

## ◎ ペナルティの基準

### (1) タイムバイオレーション (Time Violation)

[非累加ポイント・ペナルティ・システム]

#### (A) 違反事項

- 1) ウォームアップの時経過後、「20 Seconds to play」の指示から、20秒以内に試合を再開しない。
- 2) 不注意による20秒ルールの違反
- 3) 不注意による90秒ルールの違反
- 4) 不注意による120秒ルールの違反

#### (B) ペナルティ

前項目の違反に対するペナルティは、次の通りとする。

1回目：警告

2回目及びそれ以降：違反ごとに1ポイント

注1：タイムバイオレーションのペナルティは主審がとる。

注2：故意に遅延行為を行った場合には、コードバイオレーションとなる。

## (2) コードバイオレーション (Code Violation)

[ポイント・ペナルティ・システム]

### (A) 違反事項

理由のない遅延

- 1) 「Let's play」の指示から、20秒以内に試合を再開しない。
- 2) 負傷による中断後、「30 seconds to play」の指示から30秒以内に試合を再開しない。
- 3) 自然的体力消耗(痙攣等)に陥って、試合の続行が出来ない。
  1. ボールの乱用
  2. ラケットや用具の乱用
  3. 言葉による侮辱
  4. 身体に対する危害
  5. ひわいな言葉
  6. コーチング及びコーチ
  7. スポーツマンシップに反する行為

### (B) ペナルティ

前項目の違反に対するペナルティは、次の通りとする。

- 1回目：警告
- 2回目：1ポイント
- 3回目：(違反の度に) 1ゲーム

## ◎ 応援

罵声を発する、ジェスチャー・器具を用いて、相手校、相手校選手・審判などの心理を攪乱させるような行動及びプレーの妨げになるような行為をしてはならない。

学生スポーツ精神に反し、良識を欠くとみなされる場合は、レフェリーが客観的に判断して処分する。

### ● ヤジなどの不正な応援に対するペナルティ

チーム戦での応援妨害や不正応援

選手のプレーを妨害する応援や他人に不快感を与える応援は全てペナルティの対象になる。

主将・主務・質疑権所有者の提訴があった場合、コートレフェリー、またはレフェリーの判断で決める。また、限度を明らかに超えていると判断した場合は提訴がない場合でもペナルティを課すことがある。

- 1度目：警告、
- 2度目：応援拍手のみ
- 3度目：当該コートのみ応援禁止。(このペナルティはその対戦の間のみとする、次戦には持ち越さない。)
- 3度目以降：全コート応援禁止。(このペナルティはその対戦の間のみとする、次戦には持ち越さない。)

以上の注意警告を行われても、なお良識を欠くと判断されるような応援が続く場合は、学連内で会議を行い新たな罰則を科す事もある。

### ● 応援に関する注意事項

- ・ OB、OG、その他の方の応援も、その大学の応援としてみなされますので、各大学が責任を持って説明を行うこと。
- ・ 道具(太鼓・メガフォン・旗)を使っての応援は一切禁止とする

※昨年までは歌応援・連呼について禁止としていましたが、今年は可とします。

◎ **メディカル・タイムアウト (MTO)**

試合中（ウォームアップを含む）、怪我や体調不良のため、トレーナーの応急手当が必要な場合、チェアアンパイアを通じてトレーナーを要求することができる。トレーナーが必要と判断すれば1ヶ所につき1回、3分間のメディカル・タイムアウト (MTO) をとり、処置または手当を受けることができる。手当をする部位によっては、コート外で処置を受けることも出来る。

◎ **物資の持ち込みや要求について**

物資を持ち込む際は必ずコートレフェリーを通すこと。コート内へ勝手に運んだ場合、ペナルティの対象となることがある。また、試合中、物資が必要となった際は審判にコートレフェリーを要求し、対応すること。

◎ **トレーナー**

本大会はオフィシャルトレーナーが常駐する。そのため、試合時でのインジュリーはすべてオフィシャルトレーナーが診断を行う。診断の結果、治療が必要だとオフィシャルトレーナーが判断した場合は自校のトレーナーにより治療にあたる。

◎ **開会式・閉会式について**

本大会に出場する大学の開会式への参加は義務となる。諸事情により参加できない場合は事前に、大会ディレクターまで申し出ること。

3位まで入賞した大学表彰式並びに閉会式への参加は義務である。諸事情により参加できない場合は、大会ディレクターまで申し出ること。

◎ **主将主務会議について**

当日試合がある大学は毎朝8時30分から主将主務会議に参加すること。その際に、当日の注意事項の確認を行う。代理を出席させることは可能。その際の委任状などの提出は行わなくてよい。

◎ **試合の棄権・退場処分について**

- ・選手が痙攣や怪我等でこれ以上試合の続行が難しい場合、レフェリー・トレーナーの判断により強制的に、棄権させることがある。これは、当該選手の今後の選手活動を最大限考慮した結果であり、これに対する質疑は可能だが、提訴は行えない。
- ・選手の行動や言動により、警告なしで当該選手を失格させることがある。これは、大会委員長・レフェリーの判断によるもので、これに対する質疑は受ける抗議は受け入れない。また、失格選手は大会期間中のすべての種目に参加することはできない。
- ・応援に関しても、ひどい場合は警告なしで退場させることがある。これは、大学の監督・コーチ・選手・OB等の人に対して行う。また、一度退場になった者は、大会期間中、応援を一切行うことができない。

◎ **旗・ベンチ**

各大学の旗はコート選択権のある学校が決めることができる。ベンチも同様である。

◎ **その他の注意事項**

- ・パラソルはチェンジコート間のみ開いてもよい。

- ・勝敗が決まっても原則として打ち切りにはしない。雨天時や試合進行が大幅に遅れている場合はこの限りでない。
- ・ナイター使用は原則 21 時まで。(変更の場合あり)